



# 仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会  
会長 中村 孝也  
仙台市青葉区錦町1-3-9  
(市役所錦町庁舎3F)  
電話 022-224-2581  
FAX 022-302-3406

## 【第73回 日本ユネスコ運動 全国大会 in 仙台】特集号

### 「第73回 全国大会 in 仙台」を終えて

仙台ユネスコ協会 会長 中村 孝也



去る7月15～16日に開催された「全国大会」は大きな評価を得て終えることができました。

「仙台国際センター」で行われた大会は、国内外の会員と一般の方々を含め1,000名を超える人たちが参加しました。先ずNHK仙台少年少女合唱隊のコーラスで幕開けし、ノーベル平和賞受賞者のパチャウリ博士の基調講演、青年部を始め次代を担う若者達の意見発表、そしてそれらを総括する「青年宣言」がなされ参加者に感動を与えました。2日目は世界で活躍する桑山紀彦氏の映像を交えたライブショーそして環境・防災・文化の面で活動を続けている人達によるパネルディスカッション、さらには「次の70年へむけてのビジョン・ミッション」の発表など「民間ユネスコ運動」に係る私たちに「明日への糧」を与えてくれました。第1日目の合間には「UNESCO無形文化遺産 秋保田植踊」が披露され憩いのひと時を過ごしていただきました。

隣の展示会場では会場に入れなかった人達や一休みの人達に宮城県内各ユネスコ協会の「活動状況のDVD放映」、「子ども絵画展」、「仙台百景の絵画」、「食材宮城の物産展」そして「大会の生放送」を楽しんでいただきました。

夜の「懇親・交流会」は約600名の参加のもと「UNESCO平和芸術家」二村英仁氏と玉川克氏による記念演奏で始まり、和やかな雰囲気



のもと躍動感溢れる「雀踊り」を鑑賞していただきました。また、別会場「青年のつどい」では青年達約40名が交流を深めました。

エクスカージョンでは「仙台市博物館」、「瑞鳳殿」の日帰り市内遊覧、1泊2日コースでは「松島遊覧・瑞巖寺見学」、「石巻・日和山からの被災地展望」そして「気仙沼ユネスコ協会」役員との交流会さらには「被災者の語る当時の状況」、中尊寺・毛越寺見学など東北中央部の過去と現在を知っていただきました。

多くの人達から過去の全国大会には無かった内容で素晴らしかったとか、感謝の言葉が寄せられています。この評価の要因は、実行委員会の計画に基づき役員始め全員（日ユ・県連・ボランティア）の協力によるものです。関係者の皆様、本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。



### これからの行事と催事

**東北ブロック・ユネスコ  
活動研究会福島大会  
inいわき**  
■10月21日(土)～22日(日)

**ユネスコ・カレッジ**  
■10月25日(水)～26日(木)

**ユネスコスクール東北  
宮城大会** ■11月10日(金)

**留学生交流事業** ■12月予定



公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

# 第73回 日本ユネスコ運動 全国大会 in 仙台

発祥の地 仙台から世界へ UNESCO憲章の理念を未来に!

## 大会1日目：7月15日(土)

11:30~	開場、参加者受付
12:45~	オープニング・コンサート
13:00~	開会式
13:40~	特別講演 「気候変動に挑戦する知と勇気をもつ若者を育てよう」 講師：ノーベル平和賞受賞 ラジェンドラ・クマール・パチャウリ氏
14:20~	みらい創造隊 presents 青年部がいざなう現在・過去・未来のユネスコ探検ツアー
15:20~	UNESCO無形文化財 秋保の田植踊 (馬場の田植踊保存会)
15:40~	パネルディスカッション「高校生が届けるメッセージ」
17:00~	全国大会10回出席者表彰
17:15~	青年部による仙台宣言



◆オープニング・コンサート  
NHK仙台少年少女合唱隊の皆さんによる合唱。オープニングを飾って素晴らしい歌声を響かせていただきました。



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟  
大橋洋治 会長



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟  
松田昌士 名誉会長



宮城県知事  
村井嘉浩 様



パリ・ユネスコ本部  
イリーナ・ボコバ事務局長  
代読 対外関係広報局調整官  
村井恵美子様



外務省  
国際文化交流審議官  
宮川 学 様



文部科学省  
松野博一 大臣  
代読 国際戦略企画官  
小林洋介様



◆第73回記念特別講演  
気候変動に関する政府間パネル (ICPP) 前議長  
2007年ノーベル平和賞受賞者  
ラジェンドラ・クマール・パチャウリ様



◆みらい創造隊 presents  
青年部がいざなう現在・過去・未来のユネスコ探検ツアー  
仙台ユネスコ協会青年部  
今村優介さん 中谷祐太さん  
及川美聡さん 池田百恵さん

◆パネルディスカッション  
「高校生が届けるメッセージ」  
パネリスト  
伊藤 連さん (宮城県気仙沼高校)  
水上 美咲さん (宮城県富谷高校)  
大泉さくらさん (宮城県仙台二華高校)  
鈴木みつきさん (福島県立安達高校)



◆ユネスコ無形文化遺産 秋保田植踊 馬場地区の田植踊保存会の皆さん  
◆青年による仙台宣言  
仙台ユネスコ協会青年部を代表して今村優介さんと野田千咲さんが仙台宣言を読み上げました

## 懇親会(ホテルメトロポリタン仙台4F「千代の間」)

19:00~	オープニングアトラクション
19:15~	開会の辞
19:16~	歓迎の挨拶(仙台市長・奥山恵美子(当時))
19:20~	挨拶と乾杯
19:25~	開演
20:20~	余興(仙台すずめ踊り)
20:35~	挨拶 中国ユネスコ協会クラブセンター連盟 韓国ユネスコ協会連盟
20:50~	合唱
20:57~	閉会の挨拶
21:00~	閉会の辞

■青年のつどい(18時~20時/仙台国際センター3F「白樺」)



仙台市長 奥山恵美子様(当時)からビデオメッセージによる歓迎のご挨拶がありました



UNESCO平和芸術家二村英仁氏  
バイオリン演奏



すずめ踊り  
宴もたけなわの大賑わい



世界から沢山のユネスコ協会関係の方々に参加

## 大会2日目: 7月16日(日)

08:30~	開場
09:00~	映像と演奏による講演
10:30~	パネルディスカッション 「ESD・地球の平和を守ろう」
11:40~	民間ユネスコ運動70周年ビジョンの発表 70周年記念演奏
11:50~	閉会式 次期開催地からのご挨拶 函館ユネスコ協会 閉会の挨拶
12:30~	エクスカージョン出発



◆パネルディスカッション  
「ESD・地球の平和を守ろう」  
～環境・防災・文化の実践者による討論～  
コーディネーター

宮城教育大学 市瀬智紀教授  
パネリスト  
特定非営利法人イコールネット  
代表理事 宗片恵美子様  
NPO法人田んぼ代表 岩淵 成紀様  
白石ユネスコ協会 引地瑠美子会長



タイ、カンボジア国境難民キャンプやイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア東チモールなどで医療支援活動を続けておられる医師桑山紀彦様による映像と演奏による講演が行われました



◆映像と演奏による講演「地球のステーション」  
講演: 桑山紀彦医師



◆民間ユネスコ運動70周年ビジョンの発表



◆次回2018年の開催地より挨拶  
函館ユネスコ協会の皆様

## エクスカージョン



◆Aコース  
仙台市内  
半日見学コース  
瑞宝殿の前で伊達家  
18代当主伊達泰旨様  
と共に記念の一枚



◆Bコース  
世界遺産平泉の  
歴史と浄土思想  
中尊寺貫首様に  
聞く1泊2日の旅

## ユネスコ全国大会参加10回の表彰を受けて

阿部 さか江

私がユネスコの会員に加入したのは、2004年4月です。2月にネパールの奥地に寺子屋を建て落成式に行ったのがきっかけです。カトマンズからヘリコプターでパイワラへ、そこからジープでバタリヤへと進んだところで、一日半かかりました。

住民は、自分の名前も書けない、数字も数えられない、同じ人間に生まれてこんなに差があるのか!と衝撃を受けました。「識字教育」…ユネスコの一番の目的です。8歳くらいの子どもが、2歳くらいの子供を抱えて子守りです。「ナマステイ」と挨拶をしてくるあの様子が目に映り、忘れられない…。早いもので、あれから14年。振り返ると、あの子どもたちは、どうしているのかと思う。

10年間、心を同じくする全国の皆様とお知り合いになりなが

ら、毎年全国大会に参加して、ユネスコの理念を共有することができたことに感謝しております。今回の表彰は、仙台の場でありました。ユネスコ発祥の地でのことに感動いたしました。一番前に席を設けていただき、開会から最後まで聞くことができたことは、何か意味があるのではないかと深く考えております。最高の仲間と時間を共有し、健康でできる限り精進して参りたいと思います。



16名の受賞者が日本ユネスコ協会連盟  
大橋会長より表彰されました



# 青年部だより 7月～8月の活動報告

## 第73回 日本ユネスコ運動 全国大会 in 仙台



7月15～16日、日本ユネスコ運動全国大会が仙台にて行われました。全国から仙台に集まった青年たちの交流の場として、一日目の夜に、「青年のつどい」が開かれました。

総勢38名の青年が、ゲームを通してお互いの個性や価値観を共有することができました。大会においてパネラーを務めた高校生も参加し、ユネスコにはこれまで関わったことが無かったにもかかわらず、最後に「また何か一緒に活動してみたい」と言ってくれたことが印象的でした。  
(佐藤里帆)

## 第3回 宮城ユネスコ子どもキャンプ

8月11～13日、今回で第3回目となる宮城ユネスコ子どもキャンプが「きらきら、君だけの星」というテーマで行われました。

キャンプ初日は緊張もあり、なかなか子どもたち同士の仲が深まらないという不安点がありましたが2日目、3日目と時間が経つにつれて班内での話し合いやゲームを通し高学年の子がリーダーシップを取り、協力性や協調性が見えてきて今回のテーマである「きらきら」を自分だけでなく他の子のも一緒に見つけることができたと思います。  
(今村優介)



### “11枚の書きそんじハガキでひとりごと月学校に” ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



書きそんじた郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった62円ハガキは1枚につき57円の募金に替えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりごと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

### 会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

### 仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	111
個人会員	196
青年部会員	20
合計	327

(2017.8.31現在)

#### 【編集委員】

- 千葉 雅保      小泉知加子
- 神坂 旭        岩山 浩一
- 佐浦 公美      佐藤 嵩記
- 戸室 輝信      長本 昭義
- 松良 基広

#### 【編集後記】

仙台ユネスコ会報456号をお届けします。今回の号は、第73回日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台の特集ですので、オールカラーで編集いたしました。7月15～16日に開催された2日間の様子を改めて思い出されることでしょうし、記録としても残りますね。  
国内外の会員はもちろんのこと、一般の方々を含め1,000名を超える人たちが参加したこの全国大会は、今までの日本ユネスコ運動全国大会以上の盛り上がりだったそうです。  
私もこの2日間、写真撮影から関わっておりましたが、ずっと感動しっぱなしでした。2年以上前からの実行委員会の計画に基づき関わった方たちや会員のご協力の“賜物”だと思います。  
(仙台ユネスコ会報編集長 小泉知加子)